

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2020-81343 (P2020-81343A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-219704 (P2018-219704)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

A 6 1 F 13/537 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/532 (2006.01)

A 6 1 F 13/539 (2006.01)

A 6 1 F 13/515 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 F 13/42 B

A 6 1 F 5/44 S

A 6 1 F 13/537 4 0 0

A 6 1 F 13/537 2 0 0

A 6 1 F 13/537 3 1 0

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/532 2 0 0

A 6 1 F 13/539

A 6 1 F 13/515

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 1 日 (2020.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

展開状態において長手方向と幅方向と厚さ方向とを有し、
液吸収性の吸収性コアを有する吸収体と、
 前記吸収体よりも前記厚さ方向の肌側に設けられたトップシートと、
 前記吸収体よりも前記厚さ方向の非肌側に設けられ、便と接触することにより所定の反
 応を呈する便インジケータと、
 を有する吸収性物品であって、
 前記厚さ方向において、前記トップシートと前記便インジケータとの間には、セカンド
シートが配置されており、
前記吸収性コアを前記厚さ方向の肌側及び非肌側から覆うコアラップシートを有し、
前記セカンドシートのクレム吸水度は、前記トップシートのクレム吸水度よりも大きく

、
前記セカンドシートのクレム吸水度は、前記コアラップシートのクレム吸水度よりも大
きい、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向において、前記セカンドシートの中心は、前記吸収性物品の中心よりも後側に位置している、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向において、前記セカンドシートの前側端は、前記吸収性物品の中心よりも後側に位置している、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向及び前記幅方向において、前記セカンドシート又は前記コアラップシートと、前記便インジケータとが重複する部分を有している、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品であって、

前記吸収体は、前記幅方向の中央部に低坪量部を有し、

前記低坪量部の坪量は、前記低坪量部に前記幅方向の外側から隣接する領域の坪量よりも低く、

前記長手方向及び前記幅方向において、前記低坪量部と前記便インジケータとが重複する部分を有している、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の吸収性物品であって、

前記吸収体よりも前記厚さ方向の非肌側に設けられたバックシートを備え、

前記便インジケータは、前記厚さ方向において、前記吸収体の前記低坪量部と前記バックシートとの間に配置され、

前記幅方向において、前記低坪量部と対応する領域にて、前記トップシートと前記セカンドシートとが前記厚さ方向に接合されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の吸収性物品であって、

前記幅方向において、前記低坪量部と対応する領域にて、前記セカンドシートと前記コアラップシートとが前記厚さ方向に接合されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の吸収性物品であって、

前記幅方向において、前記低坪量部と対応する領域にて、前記コアラップシートと前記バックシートとが前記厚さ方向に接合されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 9】

請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品であって、

前記低坪量部は、少なくとも前記幅方向の中央部において坪量がゼロである領域を有する、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の吸収性物品であって、

前記吸収体よりも前記厚さ方向の非肌側に設けられたバックシートを備え、

前記幅方向において、前記坪量がゼロである領域と対応する領域にて、前記トップシートと、前記セカンドシートと、前記コアラップシートと、前記バックシートとが前記厚さ方向に接合されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の吸収性物品であって、

前記コアラップシートは、前記吸収性コアの肌側面を覆う肌側部と、非肌側面を覆う非肌側部を有し、

前記幅方向において、前記坪量がゼロである領域と対応する領域にて、前記コアラップシートの前記肌側部と前記非肌側部とが前記厚さ方向に接合されている、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 1 2】

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品であって、

前記長手方向において、前記便インジケータの中心は、前記吸収性物品の中心よりも後側に位置している、ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品であって、

前記便インジケータは、前記吸収性物品の前記長手方向の中心よりも後側に配置されている面積が、前記吸収性物品の前記長手方向の中心よりも前側に配置されている面積よりも大きい、ことを特徴とする吸収性物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するための主たる発明は、

展開状態において長手方向と幅方向と厚さ方向とを有し、

液吸収性の吸収性コアを有する吸収体と、

前記吸収体よりも前記厚さ方向の肌側に設けられたトップシートと、

前記吸収体よりも前記厚さ方向の非肌側に設けられ、便と接触することにより所定の反応を呈する便インジケータと、

を有する吸収性物品であって、

前記厚さ方向において、前記トップシートと前記便インジケータとの間には、セカンドシートが配置されており、

前記吸収性コアを前記厚さ方向の肌側及び非肌側から覆うコアラップシートを有し、

前記セカンドシートのクレム吸水度は、前記トップシートのクレム吸水度よりも大きく

、

前記セカンドシートのクレム吸水度は、前記コアラップシートのクレム吸水度よりも大きい、ことを特徴とする吸収性物品である。